

(1) ワークショップ(市民編)

で提示したテキスト

ワークショップ（市民編）第1回

（R5.3.26）

●本日のスケジュール

1 開会あいさつ	5分程度
2 意見交換テーマの説明	10分程度
3 環境観察モデル地区についての意見交換	70分程度
(1) 自己紹介・意見交換	60分程度
(2) 各班の意見発表	10分程度
4 閉会あいさつ	5分程度

環境観察モデル地区の候補地 についての市民会議

環境政策課
(株) 知識経営研究所

1. 環境観察モデル地区について

- 現行の「第2次四街道市環境基本計画」の計画期間が2024年度に終了することから、次期計画となる『第3次四街道市環境基本計画』を策定中。
- 脱炭素・気候変動への対応、生物多様性保全への対応などの新たな環境課題に対応



- 市の貴重な緑や生態系に市民の皆様が身近にふれあえる場として、「環境観察モデル地区」の指定と活用に関する施策を記載予定



- 「環境観察モデル地区」の具体的な活用方法、地区選定についての方針が未定。

2. 本日の意見交換テーマ

本日の意見交換テーマ1

「環境観察モデル地区」 では具体的に何を行うのか？

＜事務局が想定している環境観察モデル地区のイメージ＞

身近な里山の喪失が進む本市において、**野鳥や昆虫をはじめ身近な自然とふれあえる場所**を確保し、人々の生活にやすらぎとうるおいを与えるとともに、**自然観察などを通じて自然環境や生物多様性について学べる学習拠点**とする

2. 本日の意見交換テーマ

現場で活動をされている皆さまの視点から

- 「環境観察モデル地区」を通じて、市民の皆さまに知ってもらいたいこと、伝えたいこと。
- 「環境観察モデル地区」で市民の皆さまに体験してもらいたいこと。
- 市民の皆さまと一緒に活動してみたいこと。

2. 本日の意見交換テーマ

本日の意見交換テーマ2

「環境観察モデル地区」に適した場所

<事務局が想定している環境観察モデル地区の条件>

- 本市を象徴する里山の環境を形成している地区
- 希少な動植物をはじめとする多様な生物が生息・生育している地区
- 自然観察の場として活用していくのに必要な維持管理作業について、市民及び市民団体等の協力が得られる地区
- 自然観察の場として活用していくのに必要な観察指導・ガイド等の人材について、市民及び市民団体等の協力が得られる地区
- 自然観察の場として活用していくのに必要な便益施設（トイレ、駐車場（駐車スペース）など）が整備されている地区

2. 本日の意見交換テーマ

＜事務局が想定している環境観察モデル地区の候補＞

平成17年度に実施した四街道市自然環境調査の結果から、

調査項目	地区				
	上野・和田	山梨	栗山・長岡	内黒田	亀崎
植物種数	564	509	481	485	515
植物特定種数	21	19	18	14	19
鳥類種数	41	38	42	40	43
鳥類特定種数	17	17	19	17	20
昆虫類種数	152	140	158	136	145
小動物種数	15	10	11	13	13
魚介類種数	7	3	8	4	5
湧水の有無	無し	無し	無し	有り	有り
その他			公園管理有り		地域が道路で2分

※各地区の概要については、配布資料「環境観察モデル地区の概要」の記載

2. 本日の意見交換テーマ

現場で活動をされている皆さまの視点から

- 事務局が想定している3地区の「環境観察モデル地区」としての適否、所管
- 3地区以外で候補となりうる地区

●皆さんにお願いしたいこと

- メンバー全員が対等な立場にあり、**自由な発言を行うことを尊重**しましょう。
- 各メンバーの発言を尊重し、**はじめから否定したり、話を遮るような発言をしないよう配慮**しましょう。
- 各メンバーができるだけ多く発言できるよう、**発言時間が長くないよう配慮**しましょう。

ワークショップ（市民編）第2回

（R5.6.18）

市民ワークショップ

●本日のスケジュール

1 開会あいさつ	5分程度
2 討議	100分程度
(1) 討議テーマについてのスライド説明	5分程度
(2) 討議セッション：自己紹介・意見交換	90分程度
3 閉会あいさつ	5分程度



「第3次四街道市環境基本計画」に向けた

四街道の未来の環境を語ろう！ 市民ワークショップ

第1回テキスト

四街道市環境経済部環境政策課
株式会社 知識経営研究所

● 四街道市の環境に関する取組み・方針

- 四街道市では「第2次四街道市環境基本計画」という四街道市の環境や自然を守り、推進していくための方針をまとめています。
- この計画では「**みどりと都市が調和した心地よく暮らせるまち**」を目標として、その実現に向け、様々な活動内容を定めています。



- しかし、近年の地球環境をめぐる変化は大きく、この計画を社会情勢に合わせて見直すこととしました。
 - ・ **カーボンニュートラル（低炭素化から脱炭素化へ）**
 - ・ **気候変動への適応（環境への影響に備えること）**
 - ・ **資源循環（使い捨てプラスチック、食品ロス）の問題**
 - ・ **持続可能な開発目標（SDGs）**

● 皆様に考えていただきたいこと

地球温暖化による異常気象の頻発や食糧生産への影響、
資源の枯渇、ごみの最終処分場の不足、海洋プラスチックなどの問題、
生物多様性のバランスの崩壊、外来種の増加、谷津やみどりの減少、
大気汚染や水質汚濁、ごみのポイ捨て……

私たちが暮らす四街道市は、身近な問題から地球規模の問題まで、さまざまな環境の課題に直面しています。

このような課題に対応し、

「きれいで豊かな水を育み 身近な水辺と親しめる まち」

「先人が作り上げてきた谷津の環境や身近な緑とふれあえる まち」

「ものとエネルギーを大切につかい

環境負荷の少ない暮らしをすすめる まち」

そんな四街道市を皆さんと一緒に未来へつないでいきたい

そのために、みなさんの声を聴かせてください

● 本日の討議テーマ

四街道市の環境の 良いところ、改善したいところ



- 10年後も守り続けたい環境
- こんなまちになってほしい
- こんな取り組みや活動が広がってほしい
- 新しくこんな取り組みが実現すると良い

など

あまり難しく考えずに、
四街道の環境について、感じることを、思うことを
自由に意見してください。

● 本日の討議テーマ

■ 環境基本計画のカバーする分野として

脱炭素、気候変動への適応

省エネルギー、再生可能エネルギー、
まちの脱炭素化、気候変動への適応 など

資源循環

持続可能な資源循環、循環経済 など

自然・みどり、生物多様性

谷津の保全、うるおいのある水辺・みどり、
生物多様性、水循環 など

安心・安全、快適

災害に強いまちづくり、身近な生活環境問題、
まちの美化、まちの景観 など

環境施策の横断的な取組

環境に配慮した行動実践、
環境教育・環境学習の推進、
多様な主体との
パートナーシップなど

● 本日の討議テーマ

地球温暖化、
気候変動

二酸化炭素、化石エネルギー、太陽光発電、再生可能エネルギー、水素エネルギー、省エネ・節電、COOL CHOICE、電気自動車、燃料電池自動車、建物の省エネ化、森林吸収、集中豪雨による災害・防災対策、熱中症対策 など

ごみ
資源循環

ごみ減量、ごみの分別、使い捨てプラスチック、資源ごみ、リサイクル利用、食品ロス、海洋プラスチックごみ、3R、エコバッグ、もったいない など

自然・みどり
生物多様性

谷津の環境、みどりの減少、たろやまの郷、ホテルの自然観察地、市民の森、四街道総合公園、水辺、湧水、希少な動植物、外来生物、ビオトープ、自然とのふれあい、公園、街路樹 など

安心・安全、
快適

大気汚染、光化学スモッグ、PM2.5、水質汚濁、騒音・振動、化学物質、環境基準、ごみのポイ捨て、美化清掃、ヤード、まちなみ景観 など

エコ活動
環境学習

エコなライフスタイル・ビジネススタイル、環境教育、環境学習、環境講座、環境イベント、環境リーダー・ボランティア、環境情報、パートナーシップ など

●皆様をお願いしたいこと

- 発言をしたい時は、手を挙げて司会者に合図してください。**
- 参加者全員が対等な立場にあり、自由な発言を行うことを尊重しましょう。**
- 各参加者の発言を尊重し、はじめから否定したり、話を遮るような発言をしないよう配慮しましょう。**
- 各参加者ができるだけ多く発言できるよう、発言時間が長くならないよう配慮しましょう。**

ワークショップ（市民編）第3回

（R5.6.25）

市民ワークショップ

●本日のスケジュール

1 開会あいさつ	5分程度
2 討議	100分程度
(1) 討議テーマについてのスライド説明	10分程度
(2) 討議セッション：自己紹介・意見交換	80分程度
(3) 各グループの意見発表	10分程度
3 閉会あいさつ	5分程度



「第3次四街道市環境基本計画」に向けた

四街道の未来の環境を語ろう！ 市民ワークショップ

第2回テキスト

四街道市環境経済部環境政策課
株式会社 知識経営研究所

● 四街道市の環境に関する取組み・方針

- 四街道市では「第2次四街道市環境基本計画」という四街道市の環境や自然を守り、推進していくための方針をまとめています。
- この計画では「**みどりと都市が調和した心地よく暮らせるまち**」を目標として、その実現に向け、様々な活動内容を定めています。



- しかし、近年の地球環境をめぐる変化は大きく、この計画を社会情勢に合わせて見直すこととしました。
 - ・ **カーボンニュートラル（低炭素化から脱炭素化へ）**
 - ・ **気候変動への適応（環境への影響に備えること）**
 - ・ **資源循環（使い捨てプラスチック、食品ロス）の問題**
 - ・ **持続可能な開発目標（SDGs）**

● 四街道市の環境に関する取組み・方針

・ 施策体系（案）

望ましい環境像	環境目標	個別目標	施策
みどりと都市が調和した心地よく暮らせるまち	【脱炭素社会の実現】 (地球温暖化対策実行計画 区域施策編) 1 次世代に引き継ぐ脱炭素社会の実現に貢献できるまち	(1) 省エネルギー化の推進	1) 家庭の省エネルギー化の促進 2) 事業者の省エネルギー化の促進 3) 公共施設の省エネルギー化の推進 4) 建物の省エネルギー化の促進
		(2) 再生可能エネルギーの利用促進	5) 再生可能エネルギーの適切な導入の促進 6) 再生可能エネルギーの調達の促進
		(3) 脱炭素型まちづくりの推進	7) 移動における脱炭素化の促進 8) 吸収源対策の推進
	【自然共生社会の実現】 2 思いやりの心が育まれる自然豊かなまち	(4) 生物多様性の保全	9) 動植物の生息・生育環境の保全 10) 動植物とふれあえる空間の創造 11) 外来種対策の推進
		(5) みどり・水辺の保全	12) 里山の保全、活用 13) 水辺の保全、整備、活用 14) 身近な緑の整備、創出、活用 15) 水循環の保全
	【循環型社会の実現】 3 循環型社会の実現に向けた仕組みづくりを実践するまち	(6) 3Rの推進	16) ごみの発生抑制に向けた普及、啓発 17) 資源化推進のための仕組みづくり 18) 循環経済への転換に向けた普及、啓発
		(7) ごみの適正な処理の推進	19) 分別排出、収集の徹底 20) 安定的で効率的なごみ処理体制の推進
	【安心・安全社会の実現】 4 健やかに安心して暮らせるまち	(8) 公害防止対策の推進	21) 公害防止対策の推進 22) 監視、測定の実施
		(9) 安全・安心な生活環境の保全	23) 環境美化の推進 24) まちなみ景観の向上 25) 災害に強いまちづくりの推進
		(10) 気候変動適応策の推進	26) 自然災害対策の推進 27) 健康被害対策の推進 28) 市民生活及び農作物への影響対策の推進
	【環境行動・協働の拡大】 5 みんなで環境づくりに取り組むまち	(11) 環境教育・環境学習の推進	29) 学校における環境教育の充実 30) 地域における環境学習機会の拡充
		(12) 環境に配慮した行動の実践	31) 環境負荷の少ないライフスタイル・ワークスタイルへの転換 32) 環境活動情報の共有
		(13) 協働による環境活動の推進	33) 環境ボランティアの育成 34) 環境に配慮した活動への支援 35) 協働による環境活動、イベントの充実

● 第1回WSの討議テーマ

四街道市の環境の 良いところ、改善したいところ



- 10年後も守り続けたい環境
- こんなまちになってほしい
- こんな取り組みや活動が広がってほしい
- 新しくこんな取り組みが実現すると良い

など

あまり難しく考えずに、
四街道の環境について、感じることを、思うことを
自由に意見してください。

● 第1回WSの主な意見

■ Aグループ（窓際方向）

温暖化対策について

- 太陽光パネルを既存住宅に設置を進めていかなければいけない。
- 10年以上前の冷蔵庫を使っていたりする人が多く、省エネ製品について知らない人が多い。販売店の協力も必要だが、もっと省エネ製品（家電）について周知が必要だと思う。
- 市政だよりも省エネの情報が載っていたりするが、あまり見ていない場合もある。
- 家庭では冷暖房した居間に集まるなど、家庭での省エネ工夫をしていくといい。
- 環境家計簿はとてもいい。環境家計簿をつけた人には、文化センターの演劇の鑑賞券をつけたらいい。

環境活動・環境教育について

- 環境問題に対する意識が薄い。
- 若い世代（30～40代）が環境活動に参加していない。
- 大人向けの環境教育が必要。
- 自治会を活用して、親子で環境活動を実施するようにしてはどうか。
- 学校の環境教育をもっと活発にしてほしい。
- 市、企業、学校が集まってエコ活動をする会が必要だと思う。
- 既存の環境活動団体同士の連携や、話し合い、活動報告の機会が必要。
- 環境講座の情報を整理して、もっと活用できるように情報発信してほしい。
- 市政だよりを活用するといい。未来の生活の姿をイラストで示すといい。

- Aグループに考えていただきたいこと

脱炭素に向けた行動を促す パンフレット案の作成

仕様

- A4版両面（2ページ）
- 家庭における行動実践を促す内容

検討する課題

- どのような情報を伝えたいのか？
- 手に取ってもらうための工夫
- 脱炭素社会実現に向けて、取り組んでもらいたい家庭
できる行動

→意見を参考に啓発パンフレットを作成予定

● 第1回WSの主な意見

■ Bグループ（出入口方向）

里山環境について

- ホタルやメダカが生息するなど、まだ谷津をはじめとする素晴らしい自然が残されている。
- 豊かな緑は四街道の大事な資産であるが、開発で住宅地やヤードに代わりつつある。
- ホタルの生息地も減少しつつある。
- 四街道の自然を未来の子どもたちのためにも残していきたい。
- 四街道には、素晴らしい自然があることを多くの市民が知らない。
- 四街道の里山環境を多くの市民に知ってもらい、意識を高めていけると良い。

里山環境の保全活動について

- 市内には里山保全に関わる活動をしている団体は多い。
- ホタルやメダカを活用した環境教育もできる。
- 里山をフィールドにした環境教育も実施している。
- 里山を守るためには、地主と協力しあう、企業と話し合うことも必要。
- 保全活動をしている団体への声掛け、つながりの強化が必要ではないか。
- 未来へ里山を残すための具体的な方向性を決めるべき。

- Bグループに考えていただきたいこと

里山の保全・活用に向けて 具体的に取り組むべきこと

- 里山を知る

- 里山の実態が把握できていない

- 里山を守る

- “場”（樹林、農地など）を守る

- “質”（豊かな生物相、景観など）を守る

- 里山を活用する

- 里山資源をどのように活用していくか？

→ 意見を参考に重点プロジェクトを策定予定

●皆様にお願いしたいこと

- 参加者全員が対等な立場にあり、**自由な発言を行うことを尊重**しましょう。
- 各参加者の発言を尊重し、**はじめから否定したり、話を遮るような発言をしないよう配慮**しましょう。
- 各参加者ができるだけ多く発言できるよう、**発言時間が長くないよう配慮**しましょう。

(2) ワークショップ(学生編)

で提示したテキスト

ワークショップ(学生編)第1回

(R5.6.4)

学生ワークショップ

●本日のスケジュール

1 開会あいさつ	5分程度
2 討議（雑談形式）	100分程度
（1）討議テーマについてのスライド説明	5分程度
（2）討議セッション：自己紹介・意見交換	80分程度
（3）各グループの意見発表	15分程度
3 閉会あいさつ	5分程度



「第3次四街道市環境基本計画」に向けた

四街道の未来の環境を語るう！ 学生ワークショップ

第1回テキスト

四街道市環境経済部環境政策課
株式会社 知識経営研究所

● 四街道市の環境に関する取組み・方針

- 四街道市では「第2次四街道市環境基本計画」という四街道市の環境や自然を守り、推進していくための方針をまとめています。
- この計画では「**みどりと都市が調和した心地よく暮らせるまち**」を目標として、その実現に向け、様々な活動内容を定めています。



- しかし、近年の地球環境をめぐる変化は大きく、この計画を社会情勢に合わせて見直すこととしました。
 - ・ **カーボンニュートラル（低炭素化から脱炭素化へ）**
 - ・ **気候変動への適応（環境への影響に備えること）**
 - ・ **資源循環（使い捨てプラスチック、食品ロス）の問題**
 - ・ **持続可能な開発目標（SDGs）**

● 皆様に考えていただきたいこと

地球温暖化による異常気象の頻発や食糧生産への影響、
資源の枯渇、ごみの最終処分場の不足、海洋プラスチックなどの問題、
生物多様性のバランスの崩壊、外来種の増加、谷津やみどりの減少、
大気汚染や水質汚濁、ごみのポイ捨て……

私たちが暮らす四街道市は、身近な問題から地球規模の問題まで、さまざまな環境の課題に直面しています。

このような課題に対応し、

「きれいで豊かな水を育み 身近な水辺と親しめる まち」

「先人が作り上げてきた谷津の環境や身近な緑とふれあえる まち」

「ものとエネルギーを大切につかい

環境負荷の少ない暮らしをすすめる まち」

そんな四街道市を皆さんと一緒に未来へつないでいきたい

そのために、若いみなさんの声を聴かせてください

● 本日の討議テーマ

四街道市の環境の 良いところ、改善したいところ



- 10年後も守り続けたい環境
- こんなまちになってほしい
- こんな取り組みや活動が広がってほしい
- 新しくこんな取り組みが実現すると良い

など

あまり難しく考えずに、
四街道の環境について、感じることを、思うことを
自由に意見してください。

● 本日の討議テーマ

■ 環境基本計画のカバーする分野として

脱炭素、気候変動への適応

省エネルギー、再生可能エネルギー、
まちの脱炭素化、気候変動への適応 など

資源循環

持続可能な資源循環、循環経済 など

自然・みどり、生物多様性

谷津の保全、うるおいのある水辺・みどり、
生物多様性、水循環 など

安心・安全、快適

災害に強いまちづくり、身近な生活環境問題、
まちの美化、まちの景観 など

環境施策の横断的な取組

環境に配慮した行動実践、
環境教育・環境学習の推進、
多様な主体との
パートナーシップなど

● 本日の討議テーマ

地球温暖化、
気候変動

二酸化炭素、化石エネルギー、太陽光発電、再生可能エネルギー、水素エネルギー、省エネ・節電、COOL CHOICE、電気自動車、燃料電池自動車、建物の省エネ化、森林吸収、集中豪雨による災害・防災対策、熱中症対策 など

ごみ
資源循環

ごみ減量、ごみの分別、使い捨てプラスチック、資源ごみ、リサイクル利用、食品ロス、海洋プラスチックごみ、3R、エコバッグ、もったいない など

自然・みどり
生物多様性

谷津の環境、みどりの減少、たろやまの郷、ホテルの自然観察地、市民の森、四街道総合公園、水辺、湧水、希少な動植物、外来生物、ビオトープ、自然とのふれあい、公園、街路樹 など

安心・安全、
快適

大気汚染、光化学スモッグ、PM2.5、水質汚濁、騒音・振動、化学物質、環境基準、ごみのポイ捨て、美化清掃、ヤード、まちなみ景観 など

エコ活動
環境学習

エコなライフスタイル・ビジネススタイル、環境教育、環境学習、環境講座、環境イベント、環境リーダー・ボランティア、環境情報、パートナーシップ など

●皆様をお願いしたいこと

- 発言をしたい時は、挙手アイコンか手を振って司会者に合図してください。
- 参加者全員が対等な立場にあり、自由な発言を行うことを尊重しましょう。
- 各参加者の発言を尊重し、はじめから否定したり、話を遮るような発言をしないよう配慮しましょう。
- 各参加者ができるだけ多く発言できるよう、発言時間が長くないよう配慮しましょう。

ワークショップ(学生編)第2回

(R5.6.11)

学生ワークショップ

●本日のスケジュール

1 開会あいさつ	5分程度
2 討議（雑談形式）	100分程度
（1）討議テーマについてのスライド説明	5分程度
（2）討議セッション：自己紹介・意見交換	80分程度
（3）各グループの意見発表	15分程度
3 閉会あいさつ	5分程度



「第3次四街道市環境基本計画」に向けた

四街道の未来の環境を語るう！ 学生ワークショップ

第2回テキスト

四街道市環境経済部環境政策課
株式会社 知識経営研究所

● 四街道市の環境に関する取組み・方針

- 四街道市では「第2次四街道市環境基本計画」という四街道市の環境や自然を守り、推進していくための方針をまとめています。
- この計画では「**みどりと都市が調和した心地よく暮らせるまち**」を目標として、その実現に向け、様々な活動内容を定めています。



- しかし、近年の地球環境をめぐる変化は大きく、この計画を社会情勢に合わせて見直すこととしました。
 - ・ **カーボンニュートラル（低炭素化から脱炭素化へ）**
 - ・ **気候変動への適応（環境への影響に備えること）**
 - ・ **資源循環（使い捨てプラスチック、食品ロス）の問題**
 - ・ **持続可能な開発目標（SDGs）**

● 本日の討議テーマ

環境活動について無関心層の興味をどう引き付けるか

- 四街道の環境をより良いものにしていくためには、行政だけでなく、市民や事業者の協力が不可欠



- これまでも環境活動に関する情報発信を実施しているが、興味がなければ、情報は取得してくれない。



- 意図しなくても環境活動に関する情報にふれさせるための工夫が必要
 - 既存の媒体（市政日より、SNS以外工夫）
 - 伝える情報の内容（活動は楽しそう、簡単そう、活動の目的は違うがついでに環境向上にも貢献できる など）

● 本日の討議テーマ

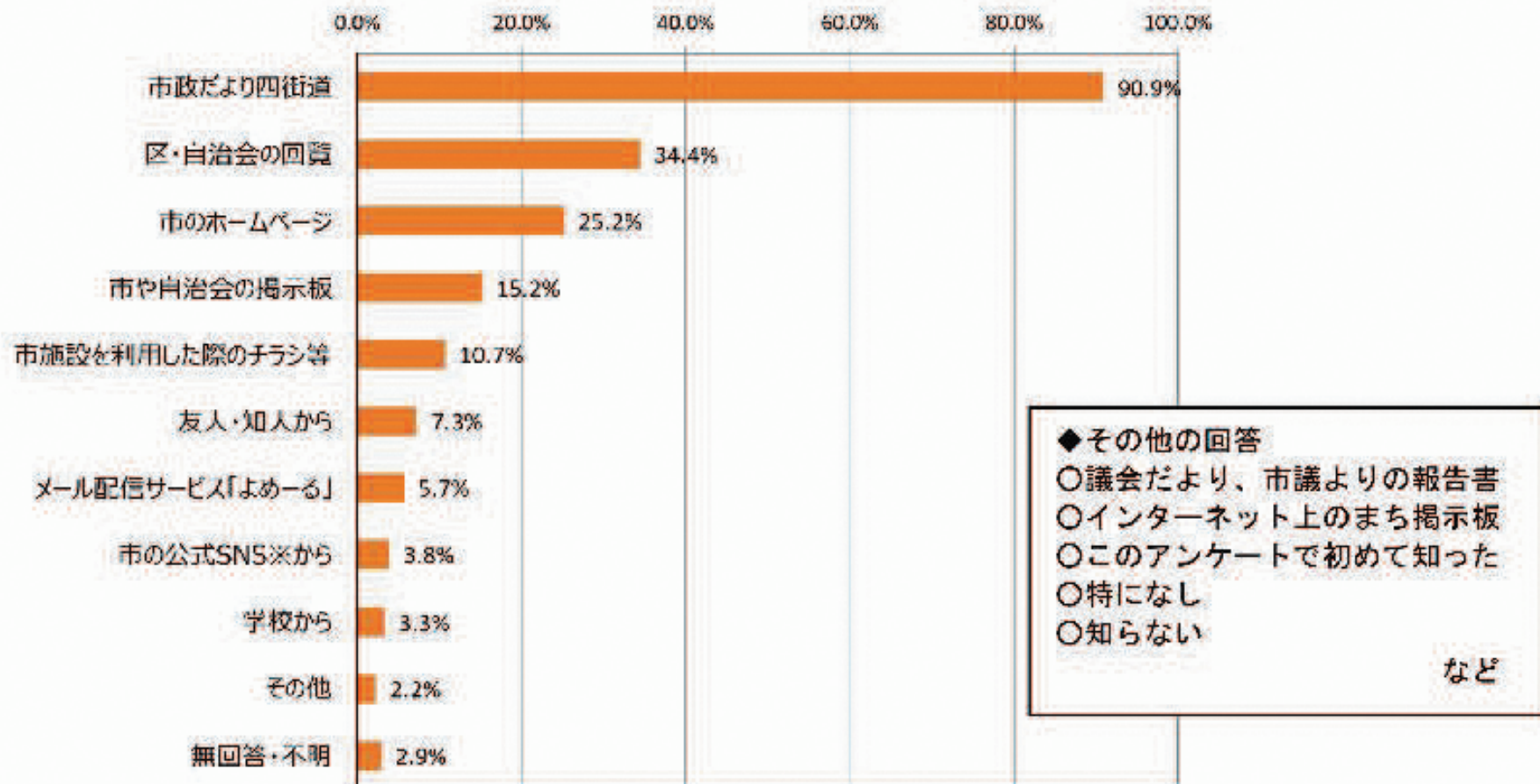
- 公式YouTube、公式Instagram、公式LINEの登録者数を上げるための工夫
 - Youtube、インスタなどの画像、動画の活用アイデア
 - 意図しなくても環境活動に関する情報にふれさせるための工夫
- 皆さんの意見をふまえて、庁内において実施手法を検討し、試行してみる

● 本日の討議テーマ

■ 環境情報の入手方法 (四街道の環境に関する意識調査 R4より)

(3) 市が進めている環境に関する取組などの情報を入手するきっかけ (10項目から選択)

市政だよりのシェアが圧倒的 ⇒ **★市政だよりの重要性、他の発信方法の模索**



● 本日の討議テーマ



四街道市公式チャンネル

@user-vc7pg9gj8t チャンネル登録者数 706人 68本の動画

千葉県四街道市の公式チャンネルです。四街道市のPR動画やイベントの...

チャンネル登録

ホーム

動画

ショート

再生リスト

コミュニティ

チャンネル

概要



新しい順

人気の動画



田植え in たろやまの郷 2023

259 回視聴・10 日前



四街道市ふるさと寄附協力事業者紹介 (IZUMINO)

919 回視聴・13 日前



四街道市ふるさと寄附返礼品の紹介 (お食事チケット/はるのガーデン)

768 回視聴・1 か月前



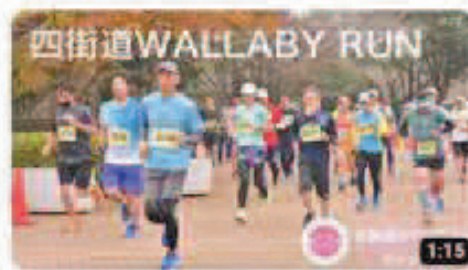
2023年春 四街道市役所周辺桜スポット —最後の取材編—

1131 回視聴・1 か月前



四街道市ふるさと寄附返礼品の紹介 (大粒いちご シェルファーム Ciel Farm)

1113 回視聴・4 か月前



四街道WALLABY RUN

288 回視聴・4 か月前



まちづくりアイデア募集「U-18よびディア選手権」開催 ～Make our future of...

477 回視聴・5 か月前



親子動画制作ワークショップ「みんながYouTuber! ～メイキング動画～」

119 回視聴・5 か月前

● 本日の討議テーマ

Instagram

🔍 検索

ログイン

登録



yotsukaido_city

フォローする

メッセージを送信

投稿132件

フォロワー730人

フォロー中1人

四街道市

Yotsukaido city's official account.

市内の風景やイベントの様子を投稿し、市の魅力を発信しています。

www.city.yotsukaido.chiba.jp

📷 投稿

👤 タグ付けされている人



●皆様をお願いしたいこと

- 発言をしたい時は、挙手アイコンか手を振って司会者に合図してください。
- 参加者全員が対等な立場にあり、自由な発言を行うことを尊重しましょう。
- 各参加者の発言を尊重し、はじめから否定したり、話を遮るような発言をしないよう配慮しましょう。
- 各参加者ができるだけ多く発言できるよう、発言時間が長くないよう配慮しましょう。

ワークショップ(学生編)第3回

(R5.7.17)

学生ワークショップ

●本日のスケジュール

1 開会あいさつ	5分程度
2 討議（雑談形式）	100分程度
（1）討議テーマについてのスライド説明	5分程度
（2）討議セッション：自己紹介・意見交換	80分程度
（3）各グループの意見発表	15分程度
3 閉会あいさつ	5分程度



「第3次四街道市環境基本計画」に向けた

四街道の未来の環境を語るう！ 学生ワークショップ

第3回テキスト

四街道市環境経済部環境政策課
株式会社 知識経営研究所

● 四街道市の環境に関する取組み・方針

- 四街道市では「第2次四街道市環境基本計画」という四街道市の環境や自然を守り、推進していくための方針をまとめています。
- この計画では「**みどりと都市が調和した心地よく暮らせるまち**」を目標として、その実現に向け、様々な活動内容を定めています。



- しかし、近年の地球環境をめぐる変化は大きく、この計画を社会情勢に合わせて見直すこととしました。
 - ・ **カーボンニュートラル（低炭素化から脱炭素化へ）**
 - ・ **気候変動への適応（環境への影響に備えること）**
 - ・ **資源循環（使い捨てプラスチック、食品ロス）の問題**
 - ・ **持続可能な開発目標（SDGs）**

● 環境活動に関わる問題

四街道の環境をより良いものにしていくためには、
行政だけでなく、市民や事業者の協力が不可欠

- 省エネ行動やごみの減量化や分別などの日常的な環境活動については、習慣として定着している。
- 地域ぐるみでの環境活動については、参加率が20%以下で低い。



- マンパワーを必要とする環境活動や、より積極的な省エネ行動やごみ減量活動を進めていくためには、参加率の向上に向けた工夫が必要

● 環境活動に関わる問題

四街道の環境学習講座・イベントなどの状況

名称	概要
生涯学習まちづくり出前講座	「四街道市の環境のはなし (No.41)」 大気・水質のはなし
	「ゴミの減量とリサイクル講座 (No.42)」 ゴミの減量方法とリサイクル
	「考えよう！ゴミについて (No.43)」 ごみ処理の現状と施設見学
環境出前講座 [四街道ストップ温暖化委員会]	千葉県地球温暖化防止活動推進員が中心となって活動する市民環境団体である「四街道ストップ温暖化委員会」が、小学校や自治会で開催している環境学習講座
市民親子農業収穫体験講座	楽しみながら四街道市の農業を学ぶことを目的とした全8回の体験講座
印旛沼観光船での自然観察会	観光船に乗り、印旛沼の自然や水質などについて学ぶ
森林保全ボランティア養成講座	市民が自然との関わりや森林との豊かな関係を体感し、森林や自然環境について理解を深めるため、市民を対象に森林の手入れに関する基礎知識と管理技術習得のための講座

● 環境活動に関わる問題

■ 環境活動への参加の状況 (四街道の環境に関する意識調査 R4より)

(1) 普段取り組んでいる環境活動 (20項目について三択)

三択：①取り組んでいる ②今後取り組みたい ③取り組むのは難しい

実施率が高い活動	空き缶やびん、ペットボトル、古紙などの資源を分別する (①96.4%)
	不要な照明やテレビはこまめに消す (①89.3%)
	油や調理くずは下水や浄化槽に流さない (①88.5%)
	冷暖房を使用するときは温度設定に気を付ける (①87.9%)
今後取り組みたい活動	環境ラベル、省エネラベルなどを参考にして環境に優しい商品を購入している (②50.0%)
	風水害に備えて自宅や職場周辺のハザードマップを確認している (②40.5%)
実施率が低い活動	環境に関する学習講座、講演会、自然観察会に参加する (①3.0%③57.3%)
	樹林や水辺などの自然環境の保全活動をする (①4.6%③55.1%)
	花植えや植樹などの地域の緑化活動をする (①13.7%③44.5%)
	公園や川などの地域の清掃活動をする (①17.4%③42.3%)

● 環境活動に関わる問題

■ なぜ環境活動に参加しないのか？（知識研調べ）

価値観・ライフスタイル		活動内容・活動のイメージ	
<ul style="list-style-type: none"> ● 若年～中堅世代の働き方が多様になり、活動に時間がとれない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分には環境問題は関係ない。他人事の感覚。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 活動が楽しくない。楽しめない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 無償では活動に集まってくれない。
<ul style="list-style-type: none"> ● サラリーマンだと地域の環境について知る必要性がない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 今の人には自然を知らない。家のつくりも自然と切り離されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境活動の敷居が高い。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分の家の周りは草むしりや清掃などをするが、地域の活動には参加しない。
<ul style="list-style-type: none"> ● 環境に対する認識が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自治会に入る人が少なくなっているなど、市民の地域への愛着が薄い。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 廃品回収などはお金になる活動はしてくれるが、無償の活動はしてくれない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 人手・時間の問題があり、新しい参加者を呼び込むことに対応できない。
<ul style="list-style-type: none"> ● 環境活動に参加することが自体がいやだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 集合住宅の居住者は地域の活動に参加してくれない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 専門的な活動のイメージがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境活動を難しく捉えており、参加することに及び腰になる。
<ul style="list-style-type: none"> ● 環境活動は男性がするものという固定観念がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分がやらなくても誰かがやってくれると思っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 一度参加すると、抜けられないイメージがある。 	
<ul style="list-style-type: none"> ● 地区ごとに生活圏や行動範囲が異なる。 			
情報発信		参加するまでのプロセス	
<ul style="list-style-type: none"> ● 人手・時間の問題があり、新しい参加者を呼び込むことに対応できない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 活動の成果が見えない。また、成果があっても周知していない 	<ul style="list-style-type: none"> ● 一人で参加することを敬遠している。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 活動が楽しくなければいけない。
<ul style="list-style-type: none"> ● 以前ほど環境問題が取り上げられない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 広報で募集をかけても参加者が集まらない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 活動に興味はあっても参加のきっかけがない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 参加するメリットが感じられない。
<ul style="list-style-type: none"> ● 市のホームページから情報が拾いきくい。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 世代によって情報伝達に格差（メディアの活用度合）がある 	<ul style="list-style-type: none"> ● 活動の入り口が分からない。 	
<ul style="list-style-type: none"> ● 市広報以外からは情報が伝わらない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 興味がなければ、自ら情報を検索はしない。 		

● 本日の討議テーマ

市民や事業者、子どもから大人までが環境活動に参加できる仕組み・工夫、イベントアイデアは？

- **市民の省エネ行動やごみ減量の行動を習慣化させるための工夫・アイデア**
- **現在、実施している環境イベントの参加率向上に向けた工夫・アイデア**
- **継続できる活動でも、単発イベントでも、思いついたことを、まずは出し合ってみよう**

● 本日のグループ討議テーマ

アイデア出しのヒント

楽しい、面白い、
満足感（メリット）が得られる、
継続できる、仲間に参加できる

子どもが興味を持つ活動
家族で参加できる活動
友達同士で参加できる活動

環境 + a（スポーツ、グルメなど）のコラボ

●皆様をお願いしたいこと

- 発言をしたい時は、挙手アイコンか手を振って司会者に合図してください。
- 参加者全員が対等な立場にあり、自由な発言を行うことを尊重しましょう。
- 各参加者の発言を尊重し、はじめから否定したり、話を遮るような発言をしないよう配慮しましょう。
- 各参加者ができるだけ多く発言できるよう、発言時間が長くならないよう配慮しましょう。